

今、なぜキャリア教育が求められるのか！

キャリア教育が求められる背景

【社会的な背景（課題等）】

- ①新規学卒者に対する求人状況の変動や雇用システムの変化など、就職・就業をめぐる環境の激変
- ②働くことや生きることへの関心・意欲の低下など、若者自身の資質等をめぐる課題
- ③身体的な早熟傾向に比して、精神的・社会的自立が遅れる傾向にあるなど、子どもたちの成長・発達上の課題
- ④進路意識や目的意識が希薄なまま、進学・就職する者の増加など、高学歴社会におけるモラトリアム傾向の高まり
- ⑤新卒者の早期離職や、フリーター・ニートの増加

【国・島根県・雲南市の教育の指針・方向性から】

国：教育基本法の改正（教育の目標に「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」等が新たに明記された）

県：教育ビジョン21（H16.3策定、H20.3改訂）では、「夢を描き、その実現に向かっていく教育の推進」施策として「キャリア教育の推進」が明確に位置づけられた。

市：合併前後の協議の中で、「総合的な学習の時間等の小中一貫したカリキュラムづくり」や「地域資源のデータベース化」等の提言があった。

「キャリア教育」の必要性

「キャリア教育」とは、「児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育（キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書）」とされています。

雲南市では、雲南市の子どもたちが「ふるさと雲南」の地域資源「人・もの・こと」や伝統文化にふれ、温かい人々との交流を通して、将来への夢や希望、勤労観、職業観を発達段階に応じて身に付ける学習プログラムを策定し、子どもたちが自己の生き方を見つけたり、将来を設計できる（ライフデザイン）能力を育てていくことをめざします。

ふるさとを愛し 心豊かでたくましく
未来を切り拓く 雲南市の人づくり



雲南市
教育基本
目標

雲南市の児童生徒の現状と課題

平成19年度に行われた「全国学力・学習状況調査」によると、「将来への夢や希望をもっている」雲南市の児童生徒の割合は全国・島根県平均を下回っています。

また、平成17～19年度に雲南市が実施した「児童生徒生活実態調査」によると、「将来やってみたい仕事がある」「自分はやれだと思う」と答えた中学生の割合は、学年が1年生から2年生に上がると数値が下がるものの、2年生から3年生に上がると上昇しています。これは、中学校3年生で行う3日間の「職場体験学習」が、将来の仕事に対するやる気や期待感を増加させている効果があると考えられます。

将来への夢や希望をもっている



家の手伝いをしている



全国学力・学習状況調査（平成19年度実施）の結果

雲南市児童生徒生活実態調査（平成17～19年度実施）の結果